

## 今週（7月29日から8月2日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、31日(水)の金融政策決定会合にて、政策金利が0.25%に引き上げられた事を受け、翌8月1日(木)以降の金利形成に大きく影響が現れた。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、29日(月)から31日(水)までは0.07%台後半で推移、8月1日(木)から2日(金)までは0.22%台後半での推移となった。利上げ後も参加者の顔ぶれに大きな変化は無く、引き続き邦銀業態の積極的な資金調達ニーズを背景に高めのレート圏で推移する展開となった。

ターム物に関しては、期越え物を含め様々な期間で散発的な出合いが見られた。

日銀当座預金残高は、財政等要因や各種金融調節により542~549兆円程度で推移した。

また、30日(火)から31日(水)に行われた金融政策決定会合では、政策金利の追加利上げに加え、国債買入れの減額計画が公表された。また、補完当座預金制度の適用利率や基準貸付利率、貸出増加支援オペ等の適用金利も変更された。

### ●レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.06~+0.23%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、政策金利が引き上げられた事を受けて、全ゾーンで水準調整が行われた。

2日(金)に行われた3M物入札は、事前予想よりも強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、不動産、鉄鋼、その他金融など幅広い業態から大型発行が行われた。

7月末の市場残高について、24兆円台半ばとなり、前月末比で1兆円以上の増加となったものの、前年比では3兆円程度の減少となった。

日銀適格担保銘柄の発行レートについては、31日(水)に政策金利の引き上げを受け、その後は0.25%以上での推移が中心となったが、ロングターム物については、引き続き投資家の運用目線にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

|          | 日経平均 (円)  | 新発10年物<br>国債利回り (%) | 為替<br>(ドル/円中心相場) | 無担保コールO/N<br>(加重平均・%) | 東京レポレート(翌日物・<br>T+1スタート・%) | 日銀当座預金残高<br>(億円) |
|----------|-----------|---------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 7/29 (月) | 38,468.63 | 1.025               | 153.78           | 0.077                 | 0.074                      | 5,480,300        |
| 7/30 (火) | 38,525.95 | 0.995               | 154.04           | 0.077                 | 0.006                      | 5,495,100        |
| 7/31 (水) | 39,101.82 | 1.055               | 152.40           | 0.079                 | 0.100                      | 5,484,800        |
| 8/1 (木)  | 38,126.33 | 1.030               | 149.55           | 0.227                 | 0.200                      | 5,481,400        |
| 8/2 (金)  | 35,909.70 | 0.955               | 149.42           | 0.227                 | 0.228                      | 5,420,900        |

## 来週（8月5日から8月9日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

|         | 国内主要経済指標   | 国債等入札予定                    |                             |                                    | 海外主要経済指標       |
|---------|--|----------------------------|-----------------------------|------------------------------------|----------------|
| 8/5 (月) | 8月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)<br>金融政策決定会合議事要旨(6月13・14日分 8:50)                      |                            |                             |                                    | 7月のISM非製造業景況指数 |
| 8/6 (火) | 6月の全世帯家計調査(総務省 8:30)<br>6月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)                              | 10Y<br>26,000億円<br>8/7発行   | 交付税借入<br>12,500億円<br>8/15借入 |                                    | 6月の米貿易収支       |
| 8/7 (水) | 7月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50)<br>6月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)                         |                            |                             |                                    | 6月の米消費者信用残高    |
| 8/8 (木) | 決定会合における主な意見(7月30・31日分 8:50)<br>6月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50)<br>7月の景気ウォッチャー調査(内閣府) | TB6M<br>37,000億円<br>8/13発行 | 30Y<br>9,000億円<br>8/9発行     | エネルギー<br>対策借入<br>4,493億円<br>8/20借入 | 6月の米卸売売上高      |
| 8/9 (金) | 7月のマネーストック(日銀 8:50)<br>6月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)                          | TB3M<br>49,000億円<br>8/13発行 |                             |                                    |                |

### ●資金需給予想

| 単位：億円   | 銀行券要因   | 財政等要因    | 資金過不足    | オペ種類                 | 期日分             | 新規実行分  | オペ合計    | 実質過不足    | 需給要因  |
|---------|---------|----------|----------|----------------------|-----------------|--------|---------|----------|---|
| 8/5 (月) | 500     | 5,900    | 6,400    | 国債買入<br>CP買入<br>国債補完 | ▲ 500<br>26,000 | 12,900 | 38,400  | 44,800   | TB3M発行▲52,000償還58,000<br>交付税借入▲12,500期日12,500 |
| 8/6 (火) | 400     | 2,000    | 2,400    |                      |                 |        | 0       | 2,400    |   |
| 8/7 (水) | ▲ 100   | ▲ 26,000 | ▲ 26,100 | 全店共通                 | ▲ 8,000         |        | ▲ 8,000 | ▲ 34,100 | 10Y発行▲26,000                                  |
| 8/8 (木) | ▲ 1,000 | 1,000    | 0        |                      |                 |        | 0       | 0        | 交付税借入▲12,500期日12,500                          |
| 8/9 (金) | ▲ 900   | ▲ 9,000  | ▲ 9,900  |                      |                 |        | 0       | ▲ 9,900  | 30Y発行▲9,000                                   |
| 週間合計    | ▲ 1,100 | ▲ 26,100 | ▲ 27,200 | —                    | 17,500          | 12,900 | 30,400  | 3,200    |   |

8/5は日銀予想、8/6以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、邦銀勢の資金ポジションに大きな変化がない限り、引き続き高めのレート圏で推移することが見込まれる。債券レポGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、引き続きレートは横ばい圏で推移するとみられる。短国市場は、8日(木)に6M物、9日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、利上げによる影響を探るなか、お盆休暇要因による前倒し発行も想定される事から、今後の市場動向が注目される。

主要なイベントは、国内では5日(月)に金融政策決定会合議事要旨(6月13・14日分)、8日(木)に決定会合における主な意見(7月30・31日分)、6月の国際収支、海外では、5日(月)に7月のISM非製造業景況指数などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入